

平成28年3月22日

市政記者クラブ 様

住宅都市局都心開発部

リニア関連・名駅周辺まちづくり推進室

主幹（名駅ターミナル機能強化）高山 直明

TEL 972-3989

「名古屋駅周辺エリアにおけるトータルデザイン検討会議」を立ち上げます

名古屋駅周辺まちづくり構想の基本方針に位置づけた、「玄関口にふさわしい風格とにぎわいを感じさせる顔づくりを進める」について、都市のデザイン形成に関する有識者の意見を聴取し、質の高い象徴的な空間形成に向けたトータルなデザイン及び名古屋駅東西の駅前広場周辺エリア等のデザインについて検討を行うため、トータルデザイン検討会議を下記のとおり開催しますのでお知らせいたします。

## 記

### 1. 日時

平成28年3月28日（月曜日）午後1時30分から3時30分まで（予定）

### 2. 場所

名古屋都市センター 11階ホール

名古屋市中区金山町一丁目一番一号 金山南ビル内

### 3. 議題

トータルデザインの考え方について 等

### 4. 参加者

裏面のとおり

### 5. その他

- ・会議は非公開ですが、冒頭撮影（頭撮り）のみ可能といたします。スムーズな会議運営にご協力をお願いします。なお、会場内のスペースに限りがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ビル内の他の施設利用者へのご配慮をお願いします。

< (参考) 参加者 >

有 識 者			
	氏 名	所 属	専 門
座 長	篠原 修	東京大学名誉教授	景観設計
副座長	内藤 廣	東京大学名誉教授	建 築
副座長	堀越 哲美	愛知産業大学学長・造形学部教授	環境デザイン
	伊藤 恭行	名古屋市立大学大学院教授	建 築
	長谷川浩己	オンサイト計画設計事務所代表	ランドスケープ
	羽藤 英二	東京大学大学院教授	交 通
	廣村 正彰	東京工芸大学教授	グラフィックデザイン
	福井 恒明	法政大学教授	景観計画
	森川 高行	名古屋大学教授	交 通
	山崎真理子	名古屋大学大学院准教授	材 料

(50音順、敬称略)

鉄 道 事 業 者
近鉄グループホールディングス株式会社 (近畿日本鉄道株式会社)
東海旅客鉄道株式会社
名古屋市交通局
名古屋鉄道株式会社
名古屋臨海高速鉄道株式会社

(50音順)

オ ブ ザ ー バ ー
国土交通省 中部地方整備局
国土交通省 中部運輸局
愛知県
独立行政法人都市再生機構

事 務 局
名古屋市
公益財団法人名古屋まちづくり公社

< (参考) 名古屋駅周辺まちづくり構想 (案) 概要版 抜粋 >

○まちづくりの基本方針1

【基本方針1】

**国際的・広域的な役割を担う圏域の拠点・顔を目指す**

- (1) 国際的・広域的なビジネス拠点・交流拠点を形成する
- (2) 玄関口にふさわしい風格とにぎわいを感じさせる顔づくりを進める
- (3) ビジネス拠点・交流拠点にふさわしい安全性を確保するとともに、環境負荷の少ないまちを形成する

**ビジネス拠点・交流拠点に必要な都市機能を強化する**

① **ビジネス拠点性を高める都市機能の強化**

- 交通利便性を活かし、ものづくりの圏域の中核として、また、産業の進化と成長の起点として、業務・支援機能、ビジネス交流機能、技術等を発信する機能、大学・専門学校等の立地を進めます。
- 都市再生特別地区などの都市計画制度を活用して、都市機能強化に資する民間再開発を進めます。

② **交流を促進し、来訪者をもてなす機能の強化**

- 来訪者が、“集い・憩い・滞留し、交流できる空間”を駅・駅前広場やその周辺で確保します。
- “観光・情報案内、文化発信機能”、商業機能、宿泊機能の立地を進めます。
- 都市再生特別地区などの都市計画制度を活用して、都市機能強化に資する民間再開発を進めます。



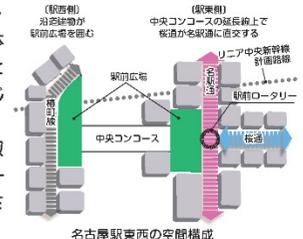
集い・憩い・滞留し、交流できる空間、観光案内所の設置等



**駅・駅前広場を中心に象徴的空間を形成する**

③ **公共空間と沿道建物が一体となって魅力ある空間を形成**

- 駅・駅前広場を中心に、名駅通・桜通・椿町線と沿道建物が一体となって名古屋大都市圏の顔となるよう風格やにぎわいを感じられる空間を形成します。
- 空間のデザインについて広く睿智を集め、世界に冠たるスーパーターミナル・ナゴヤにふさわしいものを目指します。



**リニア駅周辺街区の面的整備を推進する**

④ **周辺街区を含むまちづくりの推進**

- リニア駅は、開削工法により施工される予定ですが、不整形な残地や未接道の土地が生じることや、上部にまとまった空地が生じる可能性があります。駅が整備されるエリアは、名古屋駅に近接する貴重な土地であることから、その上部空間の有効活用とともに、その周辺街区を含めた面的なまちづくりを進めます。



- ・防災機能を有する広場空間の確保
  - ・上部空間の・リニア駅周辺街区への地下動線の確保
  - ・有効活用例・タクシー滞留機能や一般車送迎機能の配置
  - ・観光・ツアーバス等の乗降機能、自転車駐車場の配置
- 【調整事項】  
面的なまちづくりの手法、対象区域、リニア計画との整合、地下街店舗・設備等の移設などの機能確保

**防災性が高く、エネルギー効率の高いまちを形成する**

⑤ **防災性の向上**

- 大規模地震発生時の帰宅困難者対策や浸水対策を推進します。
- 地下街の改善を進めます。
- 高い防災性を備えた建築物の整備を進めます。

⑥ **環境負荷の低減**

- 環境性能の高い建築物の整備、エネルギーの面的利用の推進などヒートアイランドの緩和にも資する環境負荷の少ないまちづくりを推進します。